



▲講演の様子

5月23日、令和8年度奥出雲町健康づくり推進員会を開催しました。72名の健康づくり推進員の皆さまにご出席いただき、奥出雲町の健康実態、町内の企業や地域における継続した健康づくり推進活動の紹介、健康づくり推進員の役割・活動等について健康福祉課保健師より説明をさせていただきました。

また研修会として、今年度着任された島根県雲南保健所谷口栄作所長より「健康づくりは生活づくり 生活づくりは暮らしづくり そしてそれは地域づくり」と題し、生活習慣病を例にして分かりやすく講演いただきました。

健康づくりは、まずは自身や家族の健康に関心をもち、できることから少しずつ取り組んでいただくことが重要です。それが周囲に波及していくものと考えます。健康な暮らしや健康な地域を目指した活動となるよう、私たち保健師も町民の方々と一緒に活動をしていきたいと考えています。



健康づくり推進員会開催！

成績 (特選賞)		
順位	名号	出品者(地区)
首席	みずき2の12	和泉 芳邦さん(横田)
2席	きたざくら	佐藤 治巳さん(亀嵩)
3席	たかはら2	宮崎 真行さん(三成)
4席	あさひ	金倉 弘美さん(阿井)
5席	りんご	石原 稔さん(布勢)
6席	ゆりふくひめ	原田 敦子さん(馬木)
7席	はつゆり2	石原 忠暢さん(亀嵩)
8席	みきひさ1	三島 智幸さん(八川)



▲審査の様子(特選賞首席のみずき2の12号)

第1回奥出雲町肉用子牛共進会が6月12日に開催されました。この共進会は、肉用牛の改良の確認と畜産経営の発展を目的に開催されており、町内9地区から選ばれた23頭の肉用子牛が出品され、審査が行われました。

肉用子牛共進会を開催



駅やまちをきれいに 奥出雲町商工会が地域貢献活動

女性部

奥出雲町商工会女性部による、出雲三成駅と出雲横田駅の駅舎周辺の清掃が実施されました。また、横田駅では登校時の横田高校生へのあいさつ運動も行われました。

草取りやクモの巣取りなどを行い、利用者を気持ちよく迎えられる環境づくりに努められました。

和久利直子部長は「町外から来られる方や高校生にとってのスタートの場所を大切にしたい。今年で3回目になるが、これからも続けていきたい」と話されました。

◀出雲三成駅での清掃の様子



出雲横田駅でのあいさつ運動の様子▶



奥出雲町商工会青年部による全国統一事業「絆・感謝運動」の一環として、島根ITデザインカレッジの学生とともに学校周辺の清掃活動が行われました。

草刈りなどに取り組むとともに交流を深め、国際色豊かな活動となりました。

企画を担当した和久利拓朗さんは「海外からの留学生と活動することで、お互いを知り、国際交流につながることを期待している」と話されました。

◀校舎周辺の草刈りの様子



銀杏の木の下 ▶ 落ち葉集めや草取りの様子



地域脱炭素に向けた連携協定を締結

株式会社プロテリアル、奥出雲町、株式会社バイウィルの3者による「森林整備・J-クレジット活用による地域脱炭素に向けた連携協定」の調印式が行われました。

本町では、令和5年度からバイウィルと連携し、森林由来J-クレジットの創出に取り組んでいます。このたび、創出したJ-クレジットをプロテリアルが年間500トン、8年間にわたり購入し、本町の森林整備を支援いただくこととなりました。

プロテリアルの渡邊洋工場長は「たたら製鉄をルーツとする当社にとって奥出雲町とのつながりは特別なもの。脱炭素に取り組む中で、奥出雲町で創出されたJ-クレジットを活用し、森林整備活動を支援できることは大変意義深い」と述べられました。

たたら製鉄の歴史が結んだ縁を生かし、脱炭素社会の実現と持続可能な森林保全をともに進めていきます。



▲株式会社プロテリアル 安来工場長兼島上木炭銃工場 渡邊洋工場長(左)
株式会社バイウィル 下村雄一郎代表取締役社長(右)

ツルハグループと災害時物資供給協定を締結

6月15日、役場仁多庁舎において、奥出雲町とドラッグストアウェルネスを運営する、株式会社ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本による「災害時及びウイルス等感染症発生時における物資供給に関する協定」調印式が行われました。

この協定は、災害時などに衛生用品や食料品、生活物資などの提供や確保について、同社から優先的に協力を受けるものです。光永研一部長は「自社の店舗網を活用し、迅速な商品供給で地域に貢献したい」と話されました。

今回の協定締結により、災害時等における物資供給体制の充実が図られ、町民の皆さんが安心して暮らせる地域づくりにつながることを期待されます。



▲株式会社ツルハグループ ドラッグ&ファーマシー西日本 島根運営部 光永研一部長(右)

中国四国管区 行政評価局長表彰

奥出雲町担当行政相談委員の安部茂寿さんが、中国四国管区行政評価局長表彰を受賞され、表彰式が5月20日(水)に、サンラポーむらこも(松江市)において行われました。

安部委員は、平成30年5月に総務大臣から行政相談委員を委嘱されて以来、皆様の身近な相談相手として、暮らしの困りごとの相談を受け付け、その解決や行政相談の広報活動に尽力されてきたことなどの功績が認められ、今回の受賞となりました。



▲中国四国管区行政評価局 山路 栄作 局長(左)
安部 茂寿 委員(右)

企業版ふるさと納税によるご寄附をいただきました

株式会社河野組様

株式会社河野組様から町に対し、1千万円の企業版ふるさと納税によるご寄附をいただきました。

同社は、全国で解体工事を手掛ける企業であり、建設業界の職場環境改善や若手人材の育成に取り組む、多様な人材が活躍できる「総合的雇用推進企業」として、地域社会への貢献を目指して事業を展開されています。

この度いただきましたご寄附は「稼ぐ地域をつくり、奥出雲町で安心して働けるようにする事業」に活用させていただきます。

株式会社 Grant 様

株式会社 Grant 様から町に対し、5百万円の企業版ふるさと納税によるご寄附をいただきました。

同社は多様な人材が活躍できる企業づくりを理念に、建物に関わる事業を通じて暮らしをより良くし、お客様の想いを未来へつなぐ企業として地域社会にも貢献されています。

この度いただきましたご寄附は「稼ぐ地域をつくり、奥出雲町で安心して働けるようにする事業」に活用させていただきます。